

まなびあ テラス 通信



Vol. 23

10月

まなびあテラスからの
お知らせを毎月
おとどけします



本展は、東京国立近代美術館工芸館が所蔵する工芸作品を効果的に活用し、広く地域の鑑賞機会の充実及び美術の普及を図るとともに、地域の文化振興に貢献するため、東京国立近代美術館工芸館巡回事業として開催するものです。

日本の工芸品は、特に明治時代、欧米における熱狂的な日本ブームにつれて、海外へ大量に輸出されていきました。明治政府は、殖産興業及び外貨獲得という目的から、この動向を支持し、工芸を重要な輸出品目と位置付けて、工芸品制作を奨励しました。こうして、技巧を凝らした、類い稀な作品群が次々と生み出され、世界に冠たる日本近代工芸の発展の基礎が形成されたのです。その後、その技を受け継ぎながらも、工芸品制作の中に自らの個性を見出そうとする作家たちの登場や、美術工芸団体の設立などにより、日本の工芸は、伝統と創造性が融合され、まさに現在、それらが昇華した姿として確立されています。

本展では、こうした日本の近現代工芸の技と歴史、そしてそれから生み出された「美」を、ご覧いただくため、東京国立近代美術館工芸館の膨大な所蔵品の中から、陶器・ガラス・漆工・木工・竹工・染織・人形・金工の各分野を代表する珠玉の名品を展示します。これらの作品群を通して、世界でも高い評価を受けている日本の近現代工芸の神髄に触れていただければと思います。

東京国立近代美術館工芸館名品展
多彩なる近現代工芸の煌めき

●開会式

10/6(土) 10:30～ 場所:エントランスホール

※開会式終了後、東京国立近代美術館工芸館 中尾優衣主任研究員によるギャラリートークをおこないます。

●藍染ワークショップ

10/27(土)・28(日) 11/3(土)・4(日)

講師:BUAISOU 結城研氏(10/27、28のみ)

※詳細は裏面をご覧ください。

●講演会

「日本の近現代工芸の歩みから現在(いま)を考える」

11月3日(土・祝)14:00～15:30

講師:東京国立近代美術館工芸館 唐澤昌宏工芸課長

場所:講座室／参加無料 定員:50名

申込:電話または総合案内カウンターへ直接

●週末ギャラリートーク

期間中の土・日・祝日 14:00～14:30

集合場所:特別展示室入口

参加無料(展覧会の観覧料が必要)

※開催内容、日程が変更になる場合があります。

あらかじめご了承ください。

●タッチ&トーク

10/21(日) 11:00～12:00

場所:特別展示室、市民ギャラリー

講師:東京国立近代美術館工芸館

今井陽子主任研究員、西岡梢研究補佐員

定員:20名(小学生以上)

参加無料(展覧会の観覧料が必要)

申込:電話または総合案内カウンターへ直接

内容:展覧会の会場で作品の見どころを紹介し、タッチコーナーで実際に工芸作品に触れることで、素材や技法の魅力を体験します。

2018.10.6[土]—11.25[日]

会場:特別展示室／開館時間:9:00—18:00

休館日:10/9(火)、22(月)、11/12(月)

観覧料:一般 200 円/団体 150 円(20 名以上)

・高校生以下および 18 歳未満、65 歳以上の方、

障がい者手帳をお持ちの方とその付添者 1 名は無料



今回は、東根市市制施行 60 周年を記念して、まなびあテラスで巡回開催します。

「NHKハート展」は、詩とアートを組み合わせた展覧会です。障害のある人がつづった詩に込められた思いを、各界の著名人やアーティストが、ハートをモチーフにアート作品で表現しています。

23 回目となる今回は、全国から寄せられた四千編を超えるの詩の中から選ばれた 50 編の詩に、俳優の青木崇高さん、料理研究家の土井善晴さん、漫画家の高橋陽一さん、東北芸術工科大学教授の現代美術家・原高史さんなど、各界の著名人やアーティスト 50 人の方に心温まるアート作品を制作いただき、展示いたします。



【開会式&アーティストトーク】

日時: 10/6(土) 午前 9:30 場所:エントランスホール

(※どなたでもご参加いただけますので、直接会場までお越しください。)

9:30～ 開会式

9:45～ アーティストトーク

〔原高史氏(東北芸術工科大学教授) 市民ギャラリー内〕

東北芸術工科大学教授の現代美術家・原高史氏による自身の出展作品についてのアーティストトーク。本展出展への思いや、山形での作品制作についてなどお話しできます。



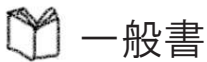
東根市市制施行 60 周年記念事業
第 23 回 NHKハート展

2018.10.6[土]—21[日]

会場:市民ギャラリーAB／入場無料

開館時間:9:00—18:00 休館日:10/9(火)

・・・今月の新刊案内・・・



一般書

『ワ・タ・シ・の思想家ずかん』

ゆも/著・イラスト

清水書院 102.8 ユ



山形県在住、現役の東北公益大学生が自身の学習ノートを元に書いた本です。ガンディー、マザー・テレサ、夏目漱石など、試験に出てくる思想家たちをイラストでキャラクター化。一人ひとりの名言、出身地等のデータを吹き出しで紹介し、思想家をより覚えやすくなっています。



児童書

『ソフィーとちいさなおともだち』

パット・ジトロ・ミラー/文 アン・ウィルズドルフ/絵

二宮 由紀子/訳

光村教育図書 Eウ



ある秋の日、ソフィーは家族でファーマーズ・マーケットに行きました。料理に使うかぼちゃを選んだのですが、抱っこするのびったり、いつもいっしょにいて語りかけるようになりしました。生命の大切さを描いた絵本。

図書館

幅広い年齢の方にご利用いただける、自由な賑わいのある図書館です。



図書館探検ツアー 秋



図書館の便利な利用方法を聞きながら、館内を探検します！閉架書庫など、普段入ることのできない場所も見学できます。クイズに回答して楽しく学びましょう。

日時:10月20日(土)

・午前の部 11:00～・午後の部 14:30～(30分程度)

対象:どなたでも(小学校2年生以下保護者同伴)

※参加ご希望の方は、開始5分前に

図書館内相談カウンター前にお集まりください。



お好きな仮装での参加大歓迎！

スペシャルおはなしかい

～ハロウィーン～

日時:10月27日(土) 14:00～14:30

場所:図書館内 おはなしの部屋

10月のおはなしかい

- ★ 6(土) 14:00(図書館スタッフ)
- ★ 11(木) 10:30(図書館サポーター・ひこうき雲)
- ★ 13(土) 14:00(図書館スタッフ/一般サポーター)
- ★ 20(土) 14:00(図書館スタッフ)
- ★ 25(木) 10:30(図書館サポーター・ひこうき雲)
- ★ 27(土) 14:00(図書館スタッフ/一般サポーター)



ALTの先生が英語でおはなしをしますよ。
楽しいお土産もあります。

ペロニカさんは
今月はお休みです。

『どうぞのいす』

～あなたの選んだ1冊がつながる～

日時:10/27(土)～11/11(日)

場所:図書館内児童コーナー

児童コーナーの、どうぞのいすの上に置いてある本を借りたら、次に自分の好きな本を1冊置いてね！



『地域歴史講座』

～城橋跡と史料から探る東根の戦国時代～

日時:10月28日(日)14:00～15:30

講師:保角 里志 氏(『図説東根市史』編集・執筆委員)

場所:講座室/定員:30名(定員になり次第終了)

申込:図書館カウンター、または電話

今年も保角里志氏を講師にお招きし、東根の歴史をわかりやすく学びます。今回は東根城跡・長瀬城跡・野川橋跡・六田橋跡・蟹沢橋跡を中心に解説します。



『10冊選書』

定員:10名(定員になり次第終了)

申込期間:10/10(水)～10月20日(土)

申込:図書館カウンター(電話不可)

貸出日:11月11日(日)

図書館スタッフがあなたのために、オススメの10冊を選びます！



まなびあテラス二周年記念

図書館イベント

『かわいそうな本展』

日時:11月3日(土・祝)～

場所:図書館内グループ研究室前

傷んだ状態で返却された本の展示です。

みなさん大切に本を扱いましょう。



ポロポロ・・・

『けるずBOOK』

日時:11/3(土・祝)

場所:エントランスホール

お持ち帰り冊数:1人10冊まで(なくなり次第終了)

雑誌・本を並べます。お好きな本をお持ち帰りください。



9/8、9、
「わたしの森について。—山形の芸術家たち2018」
出展作家による、展覧会関連ワークショップ

9/8(土)は、陶芸家のブルーノ・ピーフルさんのワークショップ「我が家の屋根飾りを「森の住人をつくらう」」。お面のつくり。陶器のミニチュアの土台に、葉っぱを貼り付けたり、屋根飾りをそれぞれ自由に制作しました。みなさんのテーブルを回りながら、ピーフルさんはアドバイスをしたり、質問に答えたりしていました。参加者のみなさんは、悩みながらも、鳥や魚、猫や家など個性的な屋根飾りを作りました。この日、森の住人と人間にならなければならない作品は乾燥させ、まなびあテラスの電気窯で焼成しました。



お面を作る、山川さん(左)と、荒井さん(右)



屋根飾りを作る参加者のみなさんに、アドバイスを、ピーフルさん。(左)

9/1~30、山形ビエンナーレ連携企画展
ミロコマチコ「あつちの耳、こつちの目」、
「わたしの森について。—山形の芸術家たち2018」

展覧会初日は、アーティストのみなさん勢ぞろいで開会式を行いました。開会式のあとは、絵本作家のミロコマチコさんと山伏の坂本大三郎さんが、へ山の動物のはなしと題して、展示室内でオープンニングトークを開催。ミロコさんの作品を囲んで、坂本さんの山伏ならではの体験談や、山や森の話を織り交ぜながらのトークとなりました。会場内からは質問などもあり、終始和気藹々とした雰囲気でした。その後、まなびあテラス発行の、展覧会絵本「あつちの耳、こつちの目」出版記念のミロコさんサイン会を行いました。遠くは大阪から足を運んでくださった方もいらっしゃいました。



ミロコマチコと子どもたち
(へえろはえろ いきものの毛)



左から、画家の原田圭さん、
絵本作家の山川雄大さん、
陶芸家のブルーノ・ピーフルさん

また、市民ギャラリーAでは、ミロコマチコさんと東根の子ども達のワークショップ作品「へえろはえろ いきものの毛」の展示と記録映像を上映。市民ギャラリーBでは、画家の原田圭さんの、幅4メートルの大作《陽人間》を中心にした絵画作品を展示。ギャラリーCでは、陶芸家のブルーノ・ピーフルさんの、大石田での生活を通して作り上げてきた陶芸作品や、新作の「屋根飾り」などを展示。ギャラリーDでは、絵本作家の山川雄大さんの、「東根の大ケヤキ」を題材にした最新絵本作品の原画を展示。初日は、それぞれ作家が在廊し、来場者に作品について丁寧に説明し、どのような思いや考えで制作しているかなど話されていました。期間中は連日多くの方にお越しいただきました。

美術館

二つの展示スペースとアトリエを会場に、古今東西のさまざまな美をご紹介します。



絵本作家のミロコマチコさん(右)と、
山伏の坂本大三郎さんのトークの様子

市民活動支援センター

市民活動支援センターは、さまざまな分野で活動している人たち、これから活動したいという人たちを、分野や領域を超えて支援する拠点施設です。団体登録していただくと各種特典があります。詳しくは、総合案内までお問い合わせください。

平成30年度地域生涯学習活性化支援事業 伊勢真一監督作品 ヒューマンドキュメンタリー映画

『大丈夫。—小児科医・細谷亮太のこトバー』

上映会／アフタートーク

「小児がんは7割から8割が治るようになっていく昨今、その事実があまり知られていないことが、子どもたちの生きにくさに繋がっていること」を知ってもらうために、十年以上の歳月を経て、ドキュメンタリー映画作家・伊勢真一監督が、映画「風のかたち—小児がんの仲間たちの10年—」を制作。そして、病気の子どもの40年にわたる日々を綴った、細谷亮太(細谷先生の排号)の句集を読み、姉妹作「大丈夫。」を創ろうと思い立つ。「大丈夫。」は小児科医・細谷亮太さんの口ぐせです。それは40年来、小児がん治療の最前線で子どもたちの「いのち」と向き合い続けてきた、細谷先生の自分自身への、励ましのこトバーなのかもしれません。「いのち」をみつめた、小児科医・細谷亮太さんのヒューマンドキュメンタリー映画です。



【プログラム】

- 13:30~ 開場 ●14:00~ 上映
 - 15:35~ 対談／細谷亮太氏×伊勢真一氏
- (終了後、サイン会あり)



細谷亮太ほそやろうた【プロフィール】

小児科医/俳人 聖路加国際病院顧問
1948年山形県河北町出身、東北大学医学部卒。
1978-80年米国テキサス大学総合がん研究所
MM・DD アンダーソン病院に赴任。前聖路加国際病院副院長・小児総合医療センター長。専門は小児がん、小児のターミナルケア、育児学。東京から河北町谷地の実家・細谷医院へ通い、週2日、故郷での診療も続けている。



伊勢真一いせしんいち【プロフィール】

ドキュメンタリー映像作家
1949年東京都生まれ。「奈緒ちゃん」「ありがとう」「えんとこ」「風のかたち」をはじめ、多くのヒューマンドキュメンタリーを製作。近年は若手の作品プロデュースも積極的に手がけている。日常をふんわりと映し出す映像の中に、生きることの素晴らしさが込められた独特の作風で知られる。



日時: 10/20(土)14:00-16:00 会場: 市民ギャラリーC・D 入場無料/申込先着120名※お申込みは電話0237-53-0223または直接来館にて

主催: まなびあテラス 助成: (公財) 山形県生涯学習文化財団 協力: いせフィルム



10 月



月

火

水

木

金

土

日

1	2	3	4	5	6 ★おはなしかい	7 ○レコードの良さを広め隊 レコード鑑賞会
8 体育の日	9 休館日	10	11 ★おはなしかい (図書館サポーター・ひこうき雲)	12	13 ★おはなしかい	14
15	16	17 ○Carving 愛好会 石鯨を彫る	18	19	20 ★ヒューマン ドキュメンタリー上映会 ★図書館探検ツアー ★おはなしかい ○3 時のおやつ 食品サンプル作り	21 ★東京国立近代美術館 工芸館名品展 関連企画 「タッチ&トーク」 ○二胡スマイル会 二胡演奏会
22 休館日	23	24	25 ★おはなしかい (図書館サポーター・ひこうき雲)	26	27 ★藍染ワークショップ ★スペシャル おはなしかい ハロウィン	28 ★藍染ワークショップ ★地域歴史講座
29	30	31	★・・・まなびあテラス主催 ○・・・一般利用者主催 ■東京国立近代美術館工芸館名品展 週末ギャラリートーク ※会期中の土・日・祝日			

展 覧 会 スケジュール	★東京国立近代美術館工芸館名品展 多彩なる近現代工芸の煌めき	10/6～11/25	特別展示室
	★東根市市制施行60周年事業 第23回 NHK ハート展	10/6～21	市民ギャラリーAB
	●フォト8東根 写真展	10/7～14	市民ギャラリーC
	●第54回 東根市総合文化祭	10/27～11/4	市民ギャラリーABCD

—講師紹介—

BUAISOU 結城 研 氏

山形出身。阿波藍の産地として知られる徳島県上板町を拠点に活動する BUAISOU のメンバーの 1 人。BUAISOU は藍師・染師の 4 人からなる藍染集団。藍の栽培から、染料となる染(すくも)造り、染色、製作までを一貫して行い、商品展開と合わせ、ワークショップや展示など、国内外にて幅広く活動を行う。



藍染ワークショップ

東京国立近代美術館工芸館名品展「多彩なる近現代工芸の煌めき」関連企画

①『藍で染めるオリジナルバンダナ』

阿波藍による藍染独自の美しさや魅力に触れながら、55×55 cm の大きなバンダナを藍で染めていきます。

講師: BUAISOU 結城 研氏

日時: 10/27(土)・28(日)

午前の部 10:00～12:00 午後の部 14:00～16:00

場所: アトリエ

参加費: 2,000 円/人

定員: 両日、午前・午後の部各 10 名ずつ(計 40 名)

②『藍染体験! 藍染でつくるオリジナルハンカチ』

まなびあテラススタッフと一緒に藍染を体験してみましょう。藍染体験をしながら、藍でオリジナルハンカチを染めていきます。

日時: 11/3(土)・4(日) 10:00～12:00

場所: アトリエ

参加費: 500 円/人 定員: 両日各 10 名ずつ(計 20 名)

※対象: 小学生以上 (1・2 年生は保護者同伴) 持ち物: 汚れてもいい服装・タオル

※要予約。電話(TEL: 0237-53-0230)または、まなびあテラス総合案内カウンターまで直接お申込みください。

■お申し込みの際に、希望日時をお伝え下さい。■作品は当日お持ち帰りいただけます。

東根市公益文化施設

まなびあテラス 通信

第 23 号 2018 年 10 月 1 日発行

〒999-3730 山形県東根市中央南 1 丁目7-3

TEL: 0237-53-0223(代表)

開館時間

【図書館】 9:00～20:00(平日) / 9:00～19:00(日祝)

【美術館】 特別展示室・市民ギャラリー 9:00～18:00 アトリエ 9:00～21:30

【市民活動支援センター】 9:00～21:30

プーランジェリー・カフェ「オイッティ・マルシャン」 9:00～21:30(L.O. 21:00)

【図書館】 TEL: 0237-53-0227 FAX: 0237-42-1295

【美術館】 TEL: 0237-53-0229 FAX: 0237-42-1296

【市民活動支援センター】 TEL: 0237-53-0230 FAX: 0237-42-1296